



原田 芳男 議員 … 2 件の一般質問

平成 28 年度町政執行方針について

町長：担当部局と十分、調査・検討し取り進める

原田 学童保育は、今までの小学校3年生から6年生まで適用が拡大されたが、人的配置を含めどのように対処するのか。

町長 現在、学校の空き教室がない状況で施設のあり方や雇用の問題などさまざまな観点から取り組みたい。

原田 保育料は段階をふやして対策を講じているが、制度が変わって保育料の算出方法の変更による不利益は解消しない。

町長 昨年より所得税から住民税に変わったが、国は年少扶養控除も考慮しているので、調整は必要ないと国の考えに従っている。

原田 計画されている新統合保育所は、3歳以上の間口が狭いため、2カ所の施設に子供の送迎をすることになる改善すべきでは。

町長 現在の待機児童は現在28名である。

新しい統合保育所では7口歳から2歳児まで126名の入所を予定している。

原田 エリアマネージメント条例はどのように取り進めるのか、また観光中核施設について、関係者や地域の人の意見をよく聞くべきでは。

町長 ひらぶが世界水準の国際リゾート地になるために必要な取り組みです。27年度、北大小磯教授を座長にしたワーキング会議で検討を進めている。

中核施設については、町づくり検討委員会で検討し取り進めている。

原田 JRのダイヤ変更、蘭越、ニセコからの通学などに支障があるので心配されるが。

町長 俱知安駅を発車する列車に減便はない。

原田 泊原発の避難計画は、実施不可能では。

町長 基本的には廃炉の考えは変わらない。国に対しては、代替エネルギーの開発をして欲しい。それまでは再稼働もやむを得ない。

③子育て支援
④スポーツ・生涯学習・文化

原田 大型公共事業ばかりで、町民目線に欠けるのでは。



モニタリングポスト

原田 今度は、町長が教育大綱を作るが、どのようなものを作るのか。

町長 ①教育に必要な施設、文具など
②外国語教育に必要なこと

教育行政について

原田 フッ化物洗口はやめるべき。

教育長 保護者からの希望を取って進める。

原田 就学援助の充実と前倒し支給を。

教育長 出来るだけ早く取り扱いたい。

原田 学校給食センターの民間委託は違法では。

教育長 先進的町村を参考にして進めたい。

原田 小学校の統合はやめるべきでは。

町長 適正配置審議委員会の答申を受け検討中。

TPPについて

原田 住民に責任を負う町長として、国に対し公約違反のTPPはやめよというべきでは。

町長 TPP関連対策事業や諸制度を活用し、取り組みを進めたい。